

一庫ダムにて、異常洪水時防災操作を実施

淀川水系猪名川いながわの水資源機構一庫ダム（兵庫県川西市一庫）流域では、前線の活動に伴う降雨により、7月3日22時から6日12時までの総雨量が約422mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この洪水に対して、一庫ダムでは7月5日11時から防災操作を開始しました。

この降雨により、ダムへのこれまでの最大流入量は、5日21時40分に毎秒約626立方メートルとなりましたが、最大放流量を毎秒約150立方メートルと一定量にしてきました。（最大約76%のカット）

一方、6日12時10分には、異常洪水時防災操作（※）開始水位（149.4m）を超え、これ以上貯留を続けると、ダムの洪水の貯留量が洪水調節容量を使い切り、満水位を超えるおそれがあるため、6日13時5分に異常洪水時防災操作を開始し、ダムへの流入量に対し、これまで抑えてきた放流量を流入量まで徐々に増加させる操作を行います。ダムの下流においては十分ご注意ください。よろしくお願いいたします。

また、広い範囲で大雨となっておりますので、最新の防災情報を確認して安全確保に努めて頂くよう重ねてお願い致します。

※異常洪水時防災操作：洪水調節を行っている場合において、更に洪水時最高水位を超える予測の場合に、ダムからの放流量を流入量まで徐々に増加させる操作
※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。